

# HB通信

編集・発行 /  
一般社団法人  
ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2階  
TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281  
e-mail : blrhyg@extra.ocn.ne.jp URL : <http://blrhyg.org/>



## 所長の諏訪山だより

### 末っ子や長女が家を継ぐ

今井正（1912～91年）といえば、いろいろと物議を醸した『橋のない川・第2部』（1970年）の監督として記憶している人も多いだろう。ここでは『橋のない川・第2部』の評価についてはふれないが、今井正は、社会の底辺で貧困に喘ぎながらも逞しく生きる群像を描いた秀作を多く残した映画監督であった。

その今井作品に、高度経済成長初期の農村の青年たちの生きざまを描いた『米』（1957年）がある。舞台は茨城県の霞ヶ浦に面した農村で、主人公は定職に就かず、農業の手伝いや日稼ぎ仕事をしている農家の次三男たちで、そのグループのリーダーが自衛隊を辞めてUターンしてきた木村功である。あるとき、この次三男たちが霞ヶ浦対岸の村にナンパに行こうと、小舟で移動するシーンがある。そこで、リーダーの木村功が次三男たちにナンパの心得を指南するのであるが、「間違っても次三男とは言うな。跡取りと言え。でないと、娘っ子は相手にしないからな」と言うのである。1970年代以降に深刻化する、いわゆる「嫁不足」を考えると、高度経済成長のもとで農村社会は大きく変化したものだと、痛感させられる。

長男が家を継ぐというのは、儒教の思想で、江戸時代の武家では一般的であったが、百姓・町人の間では、多様な家の継ぎ方があった。たとえば、末っ子が継ぐという末子相続は、西日本の農村で多くみられたし、東北を中心に関東や北陸などでは、初子に女性が生まれた場合、その女性（長女）が家を継ぐ姉家督が広く行われていた。神話の世界でも、神武は四男で末っ子だし、その神武の祖父である山幸彦は三男で末っ子だ。

長男が家を継ぐというのは、日本の伝統ではなく、明治以降に民法で規定されたのである。同様に、結婚すれば夫婦は同一の氏となるのも明治以降のことだ。天皇の軍隊として戦病死した人間のみを神として合祀し、同じ日本人であっても、幕府方の戦死者は祀らない。そして、敵軍の捕虜となり死亡した日本兵、自殺した日本兵、軍法会議で処刑された日本兵も祀らないという、死者を分断する靖国神社も明治以降の思想である。日本の伝統は、怨親平等といって、戦争が終わればノーサイドで、敵も味方も同じく追悼する。鎌倉の円覚寺は、元寇の両軍の戦死者を供養しているし、高野山の奥の院は、秀吉の朝鮮侵略時の朝鮮と明の戦死者も供養している。本来の伝統は、死者の分断などしないのである。

このように、伝統といっても、明治以降につくられたものは多い。私たちは、伝統ということばに惑わされないようにしなければならない。

所長 石元清英

2015年5月30日、第49回定時社員総会におきまして、任期満了にともなう役員改選が行われ、以下の通り新役員が決定いたしましたのでお知らせいたします。なお、同日開催された理事会で麻田光広が理事長に選任されました。併せてお知らせいたします。

### 理事長就任のあいさつ

この度、理事長に選任された麻田光広です。赤松賢宥前理事長の後を受け、ひょうご部落解放・人権研究所の更なる活性化に努めていく所存ですので、よろしくお願ひします。

さて、最近三つのことを思い、考えています。一つ目は、研究所設立の頃のことです。研究所は、解放運動の側から問題提起を受け、研究者につなぎ、研究者も地域に入って検証を重ねられ、その成果を研究所が発刊して発信していたことです。二つ目は、歴代所長の講演回数が多いことです。その大きな社会的要請に応じていく責任がありますし、その体制を考えていかなければと思っています。三つ目は、歴史的資料や関係文献等の自由な閲覧と使用のことです。兵庫県人権啓発協会（のじぎく会館）に寄贈する資料も、研究者や解放運動に関わる者が閲覧し使用できる権利を確保しておく必要があると思っています。

皆様の自由で闊達な議論を通じて、研究所の活動を進めていきたいと考えています。引き続き、今まで以上にご協力賜りますようお願いいたします。

理事長 麻田光広

### ■新役員名簿（2015年～2016年度）

#### 【理事長】

麻田光広（兵庫法律センター法律事務所弁護士）

#### 【副理事長】

坂本三郎（部落解放同盟兵庫県連合会委員長）

石元清英（所長／関西大学教授）

#### 【理事】

赤松賢宥（部落解放同盟兵庫県連合会前委員長）

黒田一美（兵庫県議会議員）

太田恭治（アトリエ西濱代表）

泉雄一郎（兵庫県教職員組合委員長）

橋本貴美男（部落解放同盟兵庫県連合会書記長）

辻 芳治（部落解放兵庫県民共闘会議（連合兵庫））

本郷浩二（京都産業大学他非常勤講師）

高 吉 美（ひょうご部落解放・人権研究所事務局長）

森 蔭 守（自治労兵庫県本部委員長）

川原芳和（部落解放兵庫県民共闘会議議長）

（以上 理事 13名）

#### 【監事】

兵藤 宏（兵庫地方自治研究センター）

伊藤弘孝（部落解放兵庫県民共闘会議（連合兵庫））

（以上 監事 2名）

### 新着図書

2013年5月

○『二〇一二年度部落史連続講座 講演録』（京都部落問題研究資料センター、2013.3.31）

○『部落解放第1回「婦人の集い」』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、1992.4）

○『部落解放「婦人の集い」十周年記念誌』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、2004.4）

○『部落解放第17回婦人の集い』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、

2010.4）

○『部落解放第18回婦人の集い』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、2011.4）

○『部落解放第19回婦人の集い』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、2012.4）

○『部落解放第20回婦人の集い』（部落解放同盟三田市支部連絡協議会・婦人部、2013.4）

○『就職活動応援講座／ディーセント・ワー

- ク学習会』（部落解放同盟兵庫県連合会青年部）
- 『同和・人権教育学習会 報告集』（兵庫県教職員組合・兵庫教育文化研究所）
  - 『反差別国際運動日本委員会（IMADR - JC）第24回総会 総会議案書』（反差別国際運動日本委員会（IMADR - JC）、2013.6）
  - 『うちは精肉店』（本橋成一写真・文、農山漁村文化協会、2013.3）
  - 『第17回 統一マダン神戸』（統一マダン神戸実行委員会、2013.6）
  - 『第2次神戸市人権教育・啓発に関する基本計画』（神戸市、2013.3）
  - 『障害のある女性の生活の困難—人生の中で出会う複合的な生きにくさとは—複合差別実体調査 報告書』（DPI日本会議・DPI女性障害者ネットワーク、2012.3）
  - 『「障害者差別禁止法」に障害女性の条項明記を求めて—「障害のある女性の生きにくさに関する調査」から』（DPI女性障害者ネットワーク、2012.5）
- 2013年6月
- 『第4回カンタービレ・コンサート〜とおくからきた なかまとともに〜チャリティプログラム』（神戸定住外国人支援センター（KFC）、2012.11）
  - 『2012年度 近畿大学学生人権意識調査報告書（ハラスメント問題編）』（近畿大学人権問題研究所、2013.3）
- ※一部を除く所蔵図書の「のじぎく会館」への寄贈等のため、図書の整理が遅れております。一部利用できない図書がありますので、図書をご覧になりたい方は、必ず事前にお問い合わせください。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

## ● 2015年度人権歴史マップ連続セミナー第3回

# 「大災害と在日コリアン」

講師：高 祐 二さん（兵庫朝鮮関係研究会）

1995年1月17日、未曾有の大地震が阪神地域と淡路島を襲いました。阪神・淡路大震災です。都市型直下型地震により死者は6000名を超え、同時に人々の日常生活や財産、職場が一挙に奪われたのでした。

92年前の関東大震災では、地震直後から「朝鮮人が放火している。井戸に毒を投げ込んだ」という悪質なデマが広がり、それを信じた市井の人々が多数の朝鮮人を虐殺するといった悲劇が起きました。阪神・淡路大震災では幸いにして、そうしたデマが拡散することはなく、被災者は民族や国籍を越えて互いに支え合い、復興に努力してきました。

震災から20年を経た今、巷ではヘイトスピーチが野放しとなり、在日コリアンに対する誹謗・中傷が公然と行われています。こうした排外主義が蔓延する中であって、再び大災害が発生すると、関東大震災のような悲劇が繰り返されないとは限りません。

2015年度第3回人権歴史マップ連続セミナーでは、兵庫朝鮮関係研究会会員で、在日コリアンの歴史を研究されている、高祐二さんにご講演いただきます。高さん自身が阪神・淡路大震災で被災した体験をもとに、災害時における外国人住民との共生・共助、そして復興への取り組みについて語っていただきます。

●参加資料代：【一般】800円 【会員・定期購読者・学生】500円

●お問合せ：（社）ひょうご部落解放・人権研究所

mail: : blrhyg@extra.con.ne.jp TEL: 078-252-8280

2015年  
9月5日(土)  
のじぎく会館204号室  
14:00~15:30

## ● 2015年度人権歴史マップ連続セミナー第4回

## 「淡路人形浄瑠璃見学ツアー」

要事前申込

■日時：2015年11月28日（土）10：00～14：30

■集合場所：淡路人形座前

【住所】兵庫県南あわじ市福良甲 1528-1 地先

【TEL】0799-52-0260（問合せ用）

※お車でお越しの方…ナビで電話番号検索される際には、淡路人形座の隣にある「ジョイポータル南淡路株式会社」の電話番号(0799-52-0054)をご入力ください。

■参加費：2,000円（観劇代を含む）※交通費・昼食費は各自でご負担ください。

■申込期限：2015年11月20日（金）※要事前申込

淡路島には江戸時代の初期から昭和の初めまで大小様々な人形座があり、淡路島内だけでなく全国を興行して、人形浄瑠璃の魅力を伝えました。その中の大座の一つ吉田傳次郎座の道具類を淡路人形座が継承し公演をしています。今回は淡路人形座による人形浄瑠璃を観劇したあと、被差別民衆が担ってきた芸能と文化について、太田恭治さんにお話しいただきます。



## ■行程表

- 10：00 集合（福良バスターミナル／兵庫県南あわじ市福良甲 1528-7）  
 10：05～10：50 自由散策  
 11：00～11：50 淡路人形座集合 人形浄瑠璃観劇（※演目未定）  
 11：50～12：15 バックステージツアー  
 →ふだん見る事の出来ない舞台裏を座員の方の案内で見学します。  
 ※当日の混雑状況によっては見学できない場合があります。ご了承下さい。  
 12：15～13：00 自由行動（昼食等）  
 13：00 人形座前集合→福良地区公民館へ移動  
 13：10～14：20 講演「芸能と差別」 講師：太田恭治さん  
 14：30 解散

○神戸方面から福良へは、高速バスが便利です。

▷往路（神姫バス）

三ノ宮 8時25分発

福良 9時58分着

▷復路（淡路交通）

福良 14時50分発

三ノ宮 16時23分着

## ■運賃

片道：2,250円

往復：4,050円

■お申込み・お問合せ：一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

電話：078-252-8280 メール：blrhyg@extra.ocn.ne.jp

## 事務局から

- 夏日・真夏日・猛暑日・熱帯夜と文字を並べただけも暑い！歴代1位の最高気温は、2013年8月12日に高知県で41.0℃を記録したそうです。熱中症注意!!（I）
- 「人の世の姿は、蓄積された日々の「結果」」「30年後の人の世を決めるのは、いまの日常。気を引き締めて、今日を生きよう」。この言葉をかみしめる朝。（H）
- 漫画『ワンピース』がスーパー歌舞伎として上映されます♡ルフィ役は市川猿之助さん。猿つながり？ 事前学習は、もちろん淡路人形浄瑠璃見学ツアー!!（ひ）
- 暑いです。この前「暑い暑いって、うるさい!」と叱られましたが、暑いです。仕方がないので、人気のない所で「暑いー、暑いー、あー暑い」とひとりつぶやいています。（Ka）
- 「在日は7月から強制送還。知ってる朝鮮人を入管に通報して、報賞金をもらおう!」というデマがネットに出回り、入管に多数の通報が寄せられたという。在特会の下卑た恣意活動より、よっぽど怖い。（K）